

Q2 あなたの年代を教えてください。

20歳代	2.70%	2人
30歳代	16.22%	12人
40歳代	31.08%	23人
50歳代	20.27%	15人
60歳代	13.51%	10人
70歳以上	16.22%	12人

Q3 これからもずっと住み続けたいと思うまちの条件は何だと思いますか。主なもの3つまでを選択してください。

魅力ある職場（仕事）があること	47.30%	35人
自然環境があること	33.78%	25人
安心して子育てできるための支援や教育環境があること	50.00%	37人
まちに誇りや親しみを感じることができること	22.97%	17人
人々のつながりが強く、お互いに支え合っている地域であること	31.08%	23人
便利な暮らしができるような生活基盤が整備されていること	51.35%	38人
福祉サービスや医療機関が充実していること	41.89%	31人
自分の家（土地）があること	25.68%	19人
わからない	1.35%	1人
その他（具体的に）	2.70%	2人

- ・魅力ある職場（仕事）が自宅のあるまち又は近隣にあること
- ・公共施設の充実（特に図書館の蔵書等拡充と自宅からでも check できる検索システムの導入）

Q4 現在のいすみ市の土地に関する利用の特徴についてどのように思いますか。主なもの3つまでを選択してください。

全体として調和がとれている	8.11%	6人
農地が管理され、状態がよい	8.11%	6人
里山として山林が管理され、状態がよい	2.70%	2人
宅地が整然としてよい状態である	1.35%	1人

耕作放棄地などが目立ち、荒れた状態になっている	50.00%	37人
緑地等の管理が行き届いていないため、荒れた状態になっている	31.08%	23人
地震や火災、風水害などの防災施設の整備が不十分である	20.27%	15人
市街地の商業などが衰退し、市街地の賑わいがなくなっている	75.68%	56人
道路、公園など都市基盤設備の整備が進んでいない	37.84%	28人
集落や郊外では景観や環境を無視した無秩序な開発が目立つ	16.22%	12人
わからない	5.41%	4人
その他（具体的に）	5.41%	4人

Q5 いすみ市の土地の利用方法を今後どのように進めて行くべきだと思いますか。主なもの3つまでを選択してください。

住宅系の土地利用を拡大すべきである	20.27%	15人
工業系の土地利用を拡大すべきである	14.86%	11人
商業系の土地利用を拡大すべきである	28.38%	21人
市街地の空地等の有効活用をすべきである	45.95%	34人
観光やレクリエーション系の土地利用を拡大すべきである	52.70%	39人
集落の整備に取り組むべきである	27.03%	20人
農業を振興し、農地を保存すべきである	27.03%	20人
山林や里山を保全すべきである	39.19%	29人
現状のままでよい	0.00%	0人
わからない	8.11%	6人
その他（具体的に）	9.46%	7人

- 市街地の空地・閉店店舗の有効活用は勿論の事、所謂既存の観光の概念を捨てるべき。ゴミ拾いから田植え迄、田舎暮らし(当該地域)の中にある全ての事・物・生活そのものが体験型観光の対象であると考えべき。つまり新たな観光施設やレクリエーション施設は必要なし!! やるべき事は、「懐かしい未来」をメインテーマにして昔有った本来の田舎町を蘇らせる事に、体験型観光として市民はもとより外来者に参加してもらい、参加費を受け取る!! これが未来型の観光スタイルです!!
- 新しい保育所を作るべき
- 空き家が目立ちます。空き家は、捨てられてさびれたイメージを大きくしてしまい、

観光地としても移住地としても魅力が半減する大きな要因となるので、なんとかしていただきたいと思います。また、便利さを追求するような土地利用や開発は、むしろ移住者を減少させると思います。

- ・体験型の農地を増やすべきである。
- ・豊かな自然環境を守っていくべき。安易な開発はいすみの魅力を損なう
- ・都市施設（図書館・ごみ焼却場）が必要
- ・若者多く活気溢れる学生街(大学誘致)地域に貢献できる高度医療(国吉病院の高度化)

Q6 農業や漁業、商工業など、いすみ市の地場産業を活性化させるためには、どのような取組みが重要であると思いますか。主なものを3つまでを選択してください。

地域ブランドの強化など、いすみ市のイメージを向上させる	56.76%	42人
大都市圏や海外などへの販路拡大を行う	14.86%	11人
特産品を開発し、販売を促進する	18.92%	14人
生産基盤、経営基盤の強化を行う	39.19%	29人
就農支援や後継者の育成など、新たな担い手を確保する	54.05%	40人
生産者や商店街等と連携した観光振興をすすめる	41.89%	31人
市民が地元の生産品をもっと購入し、商店で買い物するようにする	32.43%	24人
わからない	2.70%	2人

コメント（8）

- ・いすみ市は世界でも稀に見るポテンシャルを持った地域(磯根・夷隅川・農地・山林・谷津)であることを、市民はもとより全国・海外に迄、知らしめるべき!!
- ・私は移住者ですが、野菜や花の直売所はたいへん充実していて嬉しいです。遊びに来る知人も皆感動し、大量に購入していきます。(こちらで購入して宅配したりもしています)都市部の人間にはやはり、いすみの農産物は魅力があるのだと思います。インターネットなどでもっといすみの農産物の魅力を発信していくべきだと思います。
- ・距離的に首都圏の通勤圏だが、路線不足のせいで選択肢から外れる。都心に働くサーファーには魅力的な土地なのに。
- ・極点社会現象をストップさせるために地場産業の魅力を伝える若年層教育を行う
- ・湊の朝市は、観光価格で住民は利用しにくい。漁協も、伊勢海老だけではなくアジ サバイワシなどの大衆魚を廉価に提供すれば住民が利用し、漁業の振興につながるのではないかと。農産物直売所の価格もスーパーより高いものがある。生産者が地元

民を相手にしない姿勢を感じる。

- 映画のロケ地使用の宣伝を行い外国人観光客を呼ぶ
- 道の駅のような施設も有ったら良いのでは
- 内房に比べ外房は交通の便は不便である。内房はアクアラインや高速道路により観光客が増えて来ている。路線でも上総一ノ宮までは利用しやすいが。いすみ市頑張って貰いたいです。

Q7 いすみ市で少子化対策、子育て支援をすすめるにあたり、どのような取組みが重要だと考えますか。主なもの3つまでを選んでください。

保育所を充実させる	13.51%	10人
子育て世帯でも働きやすい職場づくりをすすめる	56.76%	42人
若者の就労支援を充実させる	48.65%	36人
地域全体で子どもを育て、見守るまちづくりをすすめる	28.38%	21人
出産や育児に係る経済的支援を充実させる	43.24%	32人
安心して医療に掛かることができる体制を確保する	55.41%	41人
結婚を支援する取組みをすすめる	16.22%	12人
わからない	1.35%	1人
その他（具体的に）	9.46%	7人

- 豊かな自然環境の中で子育てしたくて移住してきたのに、保育所で子どもたちは毎日テレビを見せられています。お散歩にも出かけません。これは本当に残念なことです。保育の中身をもっと見直していただきたいです。
- いすみ市にはせっかく大きな病院（夷隅医療センター）があるのに二次救急が来ていないので改革をして、誰もが安心して暮らせる地域にすれば若者の移住定住の魅力の一つになります。また、特技の有る病院にすれば医療資格を持った若者も移住定住すると思います。
- 企業、研究所、大学誘致などによる人口&各家族の将来設計を見据えた優れた就労先の確保
- 裸祭に頼りすぎている。文化的な生活環境が必要。
- 交通手段の充実（JRの増便、充実、道路整備）
- 千葉・東京方面に通勤する人のために7時40分よりも早い特急を走らせてもらいたい。これにより都市部への電車通勤が楽になり、移住促進策にもなりうる。
- 若者多く活気溢れる学生街(大学誘致)地域に貢献できる高度医療(国吉病院の高度化)

Q8 高齢者や障害者がいすみ市で安心して暮らしていくことができるために特に優先的に取り組むべきことは何だと思えますか。主なもの3つまでを選択してください。

できるだけ元気で暮らせるための健康づくりをすすめる	28.38%	21人
安心して受診できる医療体制を確保する	52.70%	39人
介護保険施設や障害者支援施設を充実させる	37.84%	28人
介護する家族への支援を充実させる	68.92%	51人
買い物や通院、余暇活動などに必要な移動手段を確保する	51.35%	38人
隣近所で見守り、支え合うまちづくりをすすめる	28.38%	21人
企業や団体の社会貢献活動を活発にする	9.46%	7人
わからない	0.00%	0人
その他（具体的に）	4.05%	3人

- ・ 独居でも何かあればすぐに誰かが駆けつけてくれるような体制
- ・ 高齢者福祉相談窓口の充実
- ・ 介護施設の実態を見て欲しい、ひどい所が多い介護士が嘆いています。

Q9 次代を担う子どもたちが健やかに育つためには、どのような教育環境づくりをすすめるべきであると考えますか。主なもの3つまでを選択してください。

学校の施設や設備をより充実させる	41.89%	31人
適正な規模を保つための学校統廃合や学区再編をすすめる	22.97%	17人
地域との連携・協力による学校運営をすすめる	39.19%	29人
地域や家庭において学び、育つ環境づくりをすすめる	35.14%	26人
子どもの心のケアやきめ細やかな相談指導ができる体制を充実させる	25.68%	19人
地域や学校での子どもの安全の確保に力を入れる	39.19%	29人
教職員の資質の向上に力を入れる	54.05%	40人
わからない	4.05%	3人
その他（具体的に）	8.11%	6人

- ・ いすみ市は九十九里の最南端の海に面した街ですが、最近の小学校6年生は25mを泳げるようになりましたと言っておりました。昔は、6年生と言うと100mは泳げていたと記憶しております。最近、夏休みのプール開放日が最高で7日程

度で昔は夏休み中開放されていたと記憶しております。何故と思い『いすみ市青少年問題協議会』にて質問をさせて頂きました。市長、教育長や出席者の皆さんは地域（大原・岬・夷隅）に一箇所の開放を検討して頂いている筈ですが進捗が見えてこない本当に子供達の事を考えているのであれば夏休みのプール開放は実施して頂きたい。また、太東小学校、岬中学校のプールは何時使えるようにするのか。新しい夷隅地区の小学校にはプールはどうするのか。子供達の事を真剣に考えて頂かない限り、子供のいる世帯が増えることは無いのではないのでしょうか。是非、真剣に考えて検討して頂きたい。

- 子どもを二人小学校に通わせていますが、やはり教育は先生方一人ひとりにかかっていると感じています。教職員の方々が豊かに学び、ご自身の生活も余裕をもっていただくことが、良い教育に繋がると思います。
- 放課後も校庭で遊べるようにする。いじめや児童虐待が起きないようにする。
- 都会の学校とは一味違う教育環境を生かすべき、自然との、向き合い方など
- 学校の統廃合の反対に小さな学校にすべきである。
- 岬中の体育館を早く改修してもらいたい。

Q10 いすみ市が地震や津波などの災害に強いまちになるためには、特にどのような取組みを推進すべきであると考えますか。主なもの3つまでを選択してください。

だれもが迅速かつ安全に避難できるための体制を強化する	59.46%	44人
さまざまな災害を想定した訓練を繰り返し実施する	31.08%	23人
地域での自主的な防災活動を活性化させる	28.38%	21人
市民一人ひとりが災害に備えた準備をしておく	44.59%	33人
普段から声掛けや支え合いを行うなど、コミュニティを深めておく	31.08%	23人
施設の耐震化や避難施設の整備など防災基盤を強化する	43.24%	32人
他の自治体との連携・協力体制を築いておく	35.14%	26人
わからない	0.00%	0人
その他（具体的に）	9.46%	7人

- いすみ市は地震・津波・河川の氾濫等、多くの災害があり全てに対応することが難しいと考えます。そこで3つに纏めると、1つ目は市は各地区役員との連携を図り、各地区に主体を持たせることで情報の混乱等を防止するとともに、各地区に纏まりを持たせることで地区の団結をより強固なものになると考えます。2つ目

は、協力体制についていすみ市は災害救助要請をした場合、陸上自衛隊下志津駐屯地が担当になります。また、迅速な行動をするための橋渡しとして公益社団法人隊友会がありいすみ市には千葉県隊友会いすみ支部があります。是非、いすみ支部長（高橋）と連携を取って頂きたいです。最後の3つ目になりますが、市は市民を事前に災害から守るために過去の災害場所には新しい住宅申請を許可しないことで被害を最小限にして頂きたい。課題は沢山ありますが新しい安全な街づくりをお願い致します。

- 日曜日にも訓練をするべきです。
- バイク好きの人たちに仮称「いすみ市災害ボラ・バイク隊」を結成して貰い、災害に備えておく。
- マニアル的な行動ではなく、自然の摂理とともに、災害との付き合い方を考える
- 避難道路の整備（東西の幹線道路）
- 非常食、発電機、給水などの体制を整えること
- 交通弱者、高齢者世代の実態、避難可能か、不可能か、行政が把握する。